



血企第380号
平成15年9月29日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社 事業局長

平成15年度第3回血液事業部会運営委員会における説明について

平成15年9月24日付事務連絡にてご依頼のありました標記の件については、下記のとおり回答いたします。

記

1. 「供血者の供血歴の確認等の徹底について」（平成15年6月12日付け医薬血発第062001号）に基づく溯及調査に係る以下の事項

① 調査の対象とした血液製剤の本数

対象期間：平成14年6月13日～平成15年8月31日

対象本数：6,987本

（平成14年6月12日以前については、未集計）

② 調査を実施した供血者の供血歴の期間

別紙のとおり

③ 上記①のうち、個別NAT検査を実施した本数

平成15年9月11日現在

HBV：2,131本

HCV：580本

HIV：235本

④ 上記③のうち、陽性が判明した本数

平成15年9月11日現在

HBV：37本

HCV：0本

HIV： 0本

⑤ 上記①のうち、医療機関に情報提供を行った件数

平成15年7月22日現在

3, 536件

(平成15年7月23日以降は未集計)

⑥ 上記⑤のうち、医療機関が受血者の検査を実施した件数

上記④について回答した37例について確認を行いました。但し、37例中、4例については、50プールNATで陽性であり、輸血用血液及び原料血漿としては、使用されておりません。残り33例から36本が製造され、32本については、32の医療機関に供給され、31本については既に使用済みであり、他の1本は現在調査中であり、31本の輸血事例の内、2例については、患者さんが既に原疾患等で死亡しており、残り29例中5例については、医療機関が受血者の輸血後検査を実施したという情報を得ております。

⑦ 上記⑥のうち、受血者の陽転又は非陽転が判明した件数

平成15年9月29日現在判明しているのは、以下のとおりであります。

(1) HBs抗原陰性	3件
(2) HBs抗体陽性	1件
(3) HBs抗原陽性	1件
合計	5件

上記5件中(2)と(3)については、陽転した。

⑧ 上記⑦のうち、医薬品副作用感染症報告を行った件数

(3)の事例について、平成15年9月29日に医療機関から感染症報告の情報が入り、国へFAXによる報告をした。